

当ファンの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（2021年1月19日設定）	
運用方針	<p>外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・ファーチャー・オブ・トランスポート・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスI 2・円建て）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証書）を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。外国投資法人の投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	<p>GRAN NEX モビリティ</p> <p>ブラックロック・グローバル・ファンズ・ファーチャー・オブ・トランスポート・ファンドークラスI 2・円建ておよびマネー・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p>	<p>ブラックロック・グローバル・ファンズ・ファーチャー・オブ・トランスポート・ファンドークラスI 2・円建ておよびマネー・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
主な組入制限	マネー・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
分配方針	<p>投資信託証券への投資割合に制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への直接投資は行いません。</p> <p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

運用報告書（全体版）

GRAN NEXT モビリティ



第4期（決算日：2025年1月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「GRAN NEXT モビリティ」は、去る1月20日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額			(参考指標)		債券組入比率	債券先物比率	投資信託券組入比率	純資産額
	税込分配金	期騰落率	円ベース	MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、円ベース)	期騰落率				
(設定日) 2021年1月19日	円 10,000	円 —	% —	13,253	% —	% —	% —	% —	百万円 4,409
1期(2022年1月19日)	11,770	10	17.8	16,444	24.1	0.0	—	98.8	17,429
2期(2023年1月19日)	11,430	10	△ 2.8	16,212	△ 1.4	0.0	—	98.1	13,284
3期(2024年1月19日)	12,029	10	5.3	21,552	32.9	0.0	—	98.8	10,158
4期(2025年1月20日)	12,256	10	2.0	27,496	27.6	0.0	—	98.5	6,888

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指標を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI オールカントリー・ワールドインデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	(参 考 指 数) MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、円ベース)		債券組入比率	債券先物比率	投資信託券組入比率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2024年1月19日	円 12,029	% —	% 21,552	% 0.0	% —	% 98.8
1月末	12,209	1.5	22,124	2.7	0.0	— 98.4
2月末	12,590	4.7	23,220	7.7	0.0	— 98.4
3月末	12,967	7.8	24,124	11.9	0.0	— 98.5
4月末	13,041	8.4	24,448	13.4	0.0	— 98.3
5月末	13,345	10.9	24,987	15.9	0.0	— 98.7
6月末	13,180	9.6	26,401	22.5	0.0	— 98.8
7月末	12,384	3.0	25,370	17.7	0.0	— 98.8
8月末	11,846	△ 1.5	24,661	14.4	0.0	— 98.8
9月末	12,074	0.4	25,018	16.1	0.0	— 98.7
10月末	12,616	4.9	26,584	23.3	0.0	— 98.6
11月末	12,076	0.4	26,745	24.1	0.0	— 98.9
12月末	12,383	2.9	27,616	28.1	0.0	— 98.5
(期 末) 2025年1月20日	円 12,266	% 2.0	% 27,496	% 27.6	% 0.0	% — 98.5

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてESG要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客様の資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>) でご覧いただけます。

ESGとは、環境 (Environment) 、社会 (Social) 、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。

運用経過

第4期：2024年1月20日～2025年1月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	12,029円
第4期末	12,256円
既払分配金	10円
騰落率	2.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

保有銘柄（STMICROELECTRONICS NV、RENESAS ELECTRONICS CORPなど）が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第4期：2024年1月20日～2025年1月20日

〉投資環境について

▶ グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

期間の初めから2024年4月にかけては、米国で底堅い経済指標が発表されたことや一部企業の良好な決算が好感されたことなどから上昇しました。5月から7月にかけては、欧州政治情勢の不透明感や米国による対中規制強化の懸念などがマイナス材料となった一方、インフレ鈍化を示唆する米国の経済指標などを受けて米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ観測が高まつたことなどがプラス材料となり、上昇しました。8月は、月初は米国の景気後退を示唆する経済指標などを受け大きく下落した一方、月末にかけては過度な景気後退懸念の払拭や米国を中心に利下げ観測が高まつたことなどから上昇しました。その後は、米国を中心に経済の軟着陸期待やトランプ次期政権が掲げる経済政策による景気押上げへの期待などがプラス材料となった一方、F R Bの追加利下げへの慎重な姿勢などがマイナス材料となり、一進一退の展開となりました。結果、期間を通じてみると、グローバル株式市況は上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルは対円で上昇した一方、ユーロは対円で概ね変わらずとなりました。

▶ 国内短期金融市场

無担保コール翌日物金利は、日銀による利上げを受け、期間末にはプラス圏となりました。

》当該投資信託のポートフォリオについて

▶ GRAN NEXT モビリティ

外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・フェューチャー・オブ・トランスポート・ファンドの円建ての投資信託証券（クラス I 2・円建て）への投資を行いました。また、マネー・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ ブラックロック・グローバル・ファンズ・フェューチャー・オブ・トランスポート・ファンドークラス I 2・円建て

主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の輸送関連企業の株式等（D R（預託証書）を含みます。）に投資を行いました。株式等への投資にあたっては、持続可能な輸送手段への移行から利益を得るとブラックロックが判断する投資対象企業に対して、ボトムアップの調査・分析に加えて、E S Gに関する各企業の取り組みと、それらが株価に与える影響度を詳細に分析（E S G項目の評価）した上で、各企業の将来の成長性を予測しつつ投資を行いました。

ブラックロック社のスチュワードシップ活動

2023年（2023年1月～2023年12月）は3,768件のエンゲージメント（対話）を行いました。

ブラックロックのスチュワードシップ活動は、ブラックロックのホームページ（<https://www.blackrock.com/jp/individual/ja/about-us/investment-stewardship>）にて開示を行っています。

（ご参考）

■ 業種別組入比率（2024年12月30日現在）

	業種	比率
1	車両関連産業	55.9%
2	輸送効率化	30.9%
3	自動化技術	9.5%
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。

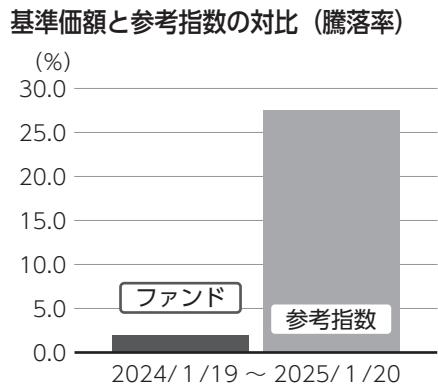
▶ マネー・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指標の騰落率との対比です。

参考指標はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

〉分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期 2024年1月20日～2025年1月20日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.082%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,256

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

▶ GRAN NEXT モビリティ

外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・フェューチャー・オブ・トランスポート・ファンドの円建ての投資信託証券（クラス I 2・円建て）を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。

▶ ブラックロック・グローバル・ファンズ・フェューチャー・オブ・トランスポート・ファンドークラス I 2・円建て

引き続き、主として日本を含む世界各国の輸送関連企業の株式等に投資を行います。

株式等への投資にあたっては、持続可能な輸送手段への移行から利益を得るとブラックロックが判断する投資対象企業に対して、ボトムアップの調査・分析に加えて、ESGに関する各企業の取り組みと、それらが株価に与える影響度を詳細に分析（ESG項目の評価）した上で、各企業の将来の成長性を予測しつつ投資を行います。

モビリティ関連業界における電動化や自動化、コネクティビティ化の傾向は企業に成長の機会を提供すると見ています。電気自動車（EV）の普及率はガソリン車などに比べると低位ですが、バッテ

リーなどの技術進歩による低価格帯での販売や各国の自動車排出ガス規制、新興国への販売機会の拡大などを背景に、今後のシェア拡大が期待されます。引き続き、モビリティ関連企業を投資対象とし、ESG評価を行い、中長期的に成長の見込める企業に投資を行う方針です。

▶ マネー・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2024年1月20日～2025年1月20日

〉1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	142	1.135	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(34)	(0.276)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(103)	(0.827)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.003	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	142	1.138	

期中の平均基準価額は、12,493円です。

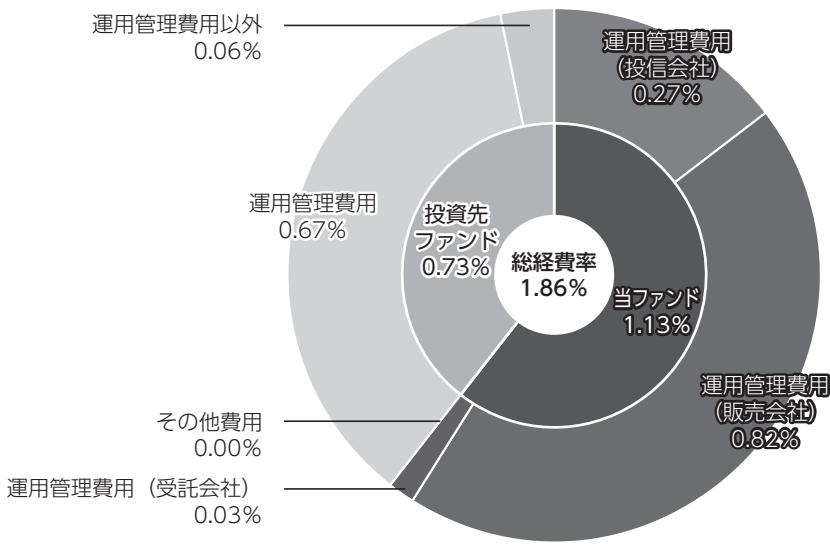
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.86%です。**



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.86
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.13
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.67
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.06

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年1月20日～2025年1月20日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ファーチャー・オブ・トランスポーテ・ファンド・クラス12・融資	千口 一	千円 一	千口 1,678	千円 3,636,540

(注) 金額は受渡金額。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月20日～2025年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額	比率
ブラックロック・グローバル・ファンズ・ファーチャー・オブ・トランスポーテ・ファンド・クラス12・融資	千口 4,864	千口 3,186	千円 6,786,752		% 98.5
合計	4,864	3,186	6,786,752		98.5

(注) 比率はGRAN NEXT モビリティの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額
マネー・マザーファンド	千口 10	千口 10	千円 9	

○投資信託財産の構成

(2025年1月20日現在)

項目	当期末		
	評価額	比率	
投資証券	千円 6,786,752	% 97.3	
マネー・マザーファンド	9	0.0	
コール・ローン等、その他	185,092	2.7	
投資信託財産総額	6,971,853	100.0	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	6,971,853,802
投資証券(評価額)	141,600,216
マネー・マザーファンド(評価額)	6,786,752,778
未収入金	9,983
未収利息	43,490,000
(B) 負債	825
未払収益分配金	83,212,101
未払解約金	5,620,591
未払信託報酬	34,987,590
その他未払費用	42,496,713
107,207	
(C) 純資産総額(A-B)	6,888,641,701
元本	5,620,591,347
次期繰越損益金	1,268,050,354
(D) 受益権総口数	5,620,591,347口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,256円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,445,124,789円
 期中追加設定元本額 183,791,882円
 期中一部解約元本額 3,008,325,324円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,2256円です。

②分配金の計算過程

項目	2024年1月20日～ 2025年1月20日
費用控除後の配当等収益額	103,394円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	126,463,779円
収益調整金額	385,237,736円
分配準備積立金額	761,866,036円
当ファンドの分配対象収益額	1,273,670,945円
1万口当たり収益分配対象額	2,266円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	5,620,591円

○損益の状況 (2024年1月20日～2025年1月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	190,365
支払利息	192,073
(B) 有価証券売買損益	△ 1,708
売買益	223,070,427
売買損	385,182,310
(C) 信託報酬等	△ 162,111,883
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 96,640,206
(E) 前期繰越損益金	126,620,586
(F) 追加信託差損益金	761,812,623
(配当等相当額)	385,237,736
(売買損益相当額)	(103,921,618)
(G) 計(D+E+F)	(281,316,118)
(H) 収益分配金	1,273,670,945
次期繰越損益金(G+H)	△ 5,620,591
追加信託差損益金	1,268,050,354
(配当等相当額)	385,237,736
(売買損益相当額)	(103,921,618)
分配準備積立金	(281,316,118)
	882,812,618

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[お知らせ]

- ①「GRAN NEXT フィナンシャルズ」の設定に伴い、スイッチング対象ファンドの追加および繰上償還条項（合計償還口数）の変更をするため、信託約款に所要の変更を行いました。
(2024年5月17日)
- ②東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。
(2024年11月5日)

<参考>投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ブラックロック・グローバル・ファンズーフューチャー・オブ・トランスポーティメント・ファンドークラス I 2・円建て
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 日本を含む世界各国の輸送関連企業（輸送に使用・適用されるテクノロジーの研究、開発、テクノロジーを利用した製品・サービスの製造、販売の分野で経済活動を行う企業）の株式等を主要投資対象とし、トータル・リターンの最大化をめざします。 企業の選定にあたっては自動車の電化や自律化、コネクティッドカーへの移行から利益を得る企業に着目し、原材料（資源やバッテリー資源等）、部品やコンピュータ・システム（バッテリーやケーブル等）、テクノロジー（自動車センサー技術等）、インフラ（電気自動車の充電スポット等）等の経済活動を行う企業の株式等に投資を行います。主に先進国の企業の株式等に投資を行いますが、新興国にも投資を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 効率的な運用を目的として、デリバティブ取引を利用することができます。 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資割合は、ファンドの純資産総額の70%以上とします。 条件付転換社債への投資割合は、純資産総額の5%以下とします。
決算日	毎年8月31日
分配方針	原則として分配を行わず信託財産の成長をめざします。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はAnnual report and audited financial statements for the financial year ended 31 August 2024版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされていないものは「ブラックロック・グローバル・ファンズーフューチャー・オブ・トランスポート・ファンド」で掲載しています。

(1) 運用計算書及び純資産変動計算書

ブラックロック・グローバル・ファンズーフューチャー・オブ・トランスポート・ファンド

2024年8月31日に終了する期間

フューチャー・オブ・
トランスポート・ファンド
米ドル

期首純資産	1,828,120,719
収益	
現金及び現金同等物の利息	3,102,346
債券利息、源泉徴収税控除	-
スワップ利息	-
エクイティリンクノートに係る収益	-
短期金融商品による利息	-
集団投資スキームによる収益、源泉徴収税控除	-
配当金、源泉徴収税控除	14,053,627
有価証券貸付による収益	309,399
投資運用報酬割戻	-
その他の払戻額	1,441
収益合計	17,466,813
費用	
現金及び現金同等物の利息	-
スワップ利息	-
年間サービス料	2,770,289
ローン契約料	8,572
保管および預託報酬	86,875
販売報酬	2,952,093
税金	539,463
投資運用報酬	16,628,249
投資運用報酬の免除	-
費用合計	22,985,541

フューチャー・オブ・
トランスポーティメント・ファンド
米ドル

投資純損益**実現純評価益／（損）：**

投資有価証券	(126,949,133)
事後通告証券契約	—
取引所取引先物	—
オプション／スワップション契約	—
スワップ取引	—
先渡為替予約	(9,107,449)
その他の取引に係る外国通貨	(212,263)
当期実現純評価損益	(136,268,845)

未実現評価益／（損）の純変動額：

投資有価証券	(15,742,117)
事後通告証券契約	—
取引所取引先物	—
オプション／スワップション契約	—
スワップ取引	—
先渡為替予約	6,529,118
その他の取引に係る外国通貨	(20,861)
当期末実現評価益／（損）の純変動	(9,233,860)

運用による純資産の増加／（減少）

資産の変動	
投資証券発行による正味受取額	126,629,659
投資証券買戻しによる正味支払額	(823,953,110)
資産の変動による純資産の増加	(697,323,451)

配当額	(94,560)
為替調整	—
期末純資産	979,681,275

(2) 投資有価証券明細表 2024年8月31日現在

ブラックロック・グローバル・ファンズーフューチャー・オブ・トランスポート・ファンド

保有高 銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)	保有高 銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)			
公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品								
COMMON STOCKS (SHARES)								
Australia								
5,589,171 Lynas Rare Earths*	26,763,433	2.73	Netherlands					
Canada								
282,407 Canadian National Railway	33,043,386	3.37	25,780 ASML	23,319,903	2.38			
410,393 Canadian Pacific Kansas City*	33,846,398	3.46	169,110 NXP Semiconductors	43,143,343	4.40			
1,261,815 Sigma Lithium	13,726,361	1.40	853,485 STMicroelectronics	27,338,549	2.79			
	80,616,145	8.23		93,801,795	9.57			
Chile								
609,659 Sociedad Quimica y Minera de Chile ADIR*	24,051,048	2.45	South Korea					
China								
1,480,000 BYD*	45,775,708	4.67	54,128 LG Chem	13,027,025	1.33			
1,344,202 Contemporary Amperex Technology	35,001,488	3.58	97,752 Samsung SDI	25,904,260	2.64			
	80,777,196	8.25		38,931,285	3.97			
France								
628,024 Dassault Systemes*	24,784,111	2.53	Switzerland					
95,298 Schneider Electric	24,361,323	2.49	286,066 TE Connectivity	43,873,942	4.48			
390,608 Vinci	46,962,611	4.79	United Kingdom					
	96,108,045	9.81	2,228,838 Auto Trader	24,974,629	2.55			
Germany								
673,760 Infineon Technologies	24,671,147	2.52	United States					
Ireland								
76,550 Eaton	23,158,671	2.36	257,394 AECOM	25,752,270	2.63			
Japan								
279,100 NIIDEC CORP	11,400,993	1.17	144,711 Analog Devices	33,946,306	3.46			
2,583,000 Renesas Electronics	44,611,583	4.55	106,699 ANSYS	34,257,848	3.50			
	56,012,576	5.72	166,767 Cadence Design Systems	44,776,940	4.57			
Jersey								
437,441 Aptiv	31,106,430	3.18	478,177 Mobileye Global	6,866,622	0.70			
			584,050 ON Semiconductor	45,748,636	4.67			
			130,903 PTC	23,287,644	2.38			
			100,662 Rogers*	10,840,291	1.11			
			182,503 Union Pacific	46,242,610	4.72			
			419,741 Verra Mobility*	11,568,062	1.18			
				283,287,229	28.92			
Total Common Stocks (Shares)								
				928,133,571	94.74			
Total Transferable Securities and Money Market Instruments Admitted to an Official Stock Exchange Listing or Dealt in on Another Regulated Market								
				928,133,571	94.74			
Total Portfolio								
				928,133,571	94.74			
Other Net Assets								
				51,547,704	5.26			
Total Net Assets (USD)								
				979,681,275	100.00			

*All or a portion of this security represents a security on loan.

マネー・マザーファンド

《第8期》決算日2025年1月20日

[計算期間：2024年7月20日～2025年1月20日]

「マネー・マザーファンド」は、1月20日に第8期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてわが国の短期公社債等に投資を行います。市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債組入比率		債券率	債先物比率	純資産額
		期騰落	中率			
4期(2023年1月19日)	円 9,983		% △0.0	% 59.4	% —	百万円 707
5期(2023年7月19日)	9,977		△0.1	77.5	—	825
6期(2024年1月19日)	9,972		△0.1	61.0	—	655
7期(2024年7月19日)	9,972		0.0	63.0	—	603
8期(2025年1月20日)	9,983		0.1	65.4	—	563

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

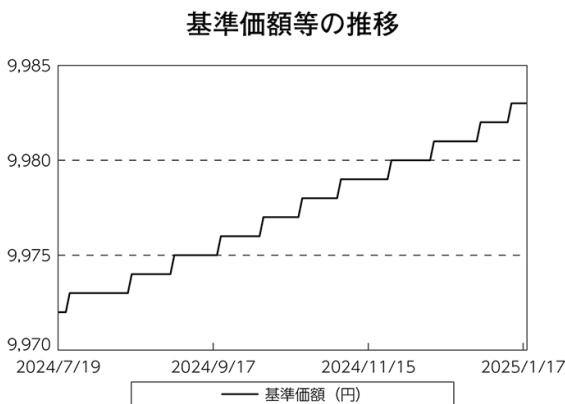
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債券率			債先物比率	券率
			組	入	比		
(期 首) 2024年 7月19日	円 9,972	% —			% 63.0		% —
7月末	9,973	0.0			67.7		—
8月末	9,974	0.0			68.0		—
9月末	9,976	0.0			66.7		—
10月末	9,978	0.1			57.7		—
11月末	9,980	0.1			57.2		—
12月末	9,982	0.1			67.8		—
(期 末) 2025年 1月20日	9,983	0.1			65.4		—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

- 当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き
基準価額は期間の初めに比べ0.1%の上昇となりました。



●投資環境について

- ◎国内短期金融市場
無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

- 日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- 利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

○1万口当たりの費用明細

(2024年7月20日～2025年1月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年7月20日～2025年1月20日)

公社債

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
内	国債証券	37,901,678	37,913,708

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月20日～2025年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月20日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちB格以下組入比率	当期末		
					残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 370,000 (370,000)	千円 368,268 (368,268)	% 65.4 (65.4)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 65.4 (65.4)
合計	370,000 (370,000)	368,268 (368,268)	65.4 (65.4)	— (—)	— (—)	— (—)	65.4 (65.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1276回国庫短期証券※	—	370,000	368,268	—
合 計		370,000	368,268	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 368,268	% 65.4
コール・ローン等、その他	195,047	34.6
投資信託財産総額	563,315	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	563,315,429
国債証券(評価額)	195,045,892
未収利息	368,268,400
	1,137
(B) 負債	241
未払解約金	241
(C) 純資産総額(A-B)	563,315,188
元本	564,268,578
次期繰越損益金	△ 953,390
(D) 受益権総口数	564,268,578円
1万口当たり基準価額(C/D)	9,983円

<注記事項>

①期首元本額 605,246,315円

期中追加設定元本額 605,516,405円

期中一部解約元本額 646,494,142円

また、1口当たり純資産額は、期末0.9983円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

GRAN NEXT マネーブールファンド	407,453,915円
MUFG ウエルス・インサイト・ファンド (マネーブール)	156,554,433円
ビルトアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04 (限定追加型)	200,200円
GRAN NEXT フィナンシャルズ	10,030円
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	10,000円
GRAN NEXT フード	10,000円
GRAN NEXT エネルギー	10,000円
GRAN NEXT テクノロジー	10,000円
GRAN NEXT モビリティ	10,000円
合計	564,268,578円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は953,390円です。

○損益の状況 (2024年7月20日～2025年1月20日)

項目	当期
(A) 受取利息等収益	円 494,583
受取利息	494,583
(B) 当期利益(A)	494,583
(C) 前期繰越損益金	△1,669,791
(D) 追加信託差損益金	△1,305,497
(E) 解約差損益金	1,527,315
(F) 計(B+C+D+E)	△ 953,390
次期繰越損益金(F)	△ 953,390

(注) (D)追加信託差損益金 とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金 とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。